



尾形的

第二十二章

因果は巡る

湖としては日本で最大の面積を誇る「琵琶湖」は、今からおよそ 400 万年前に今の形になった、世界でも数少ない古い歴史を持つ湖である。青く光り輝く琵琶湖には毎年多くの観光客が訪れ、クルージングや釣りを楽しむ人々の笑顔で溢れている。

しかし、「美しい」と思える心がありながら、人はそれを自らの手で汚してしまう。日本が誇る「富士山」が、なぜ世界遺産に名を連ねることができないか、その理由を知る人は少なくないだろう。マナーだとか、ルールだとかいう以前に、根本的な何かが欠落しているように思え、何とも言いようのない切なさが増える。

近年、私たちの周りには環境破壊や異常気象など、地球規模の深刻な問題が山積している。それでも実害を被りでもない限りは、どこかで“他人事”のような感覚の遠さを覚える。それが“地球規模”という大きな問題になればなるほど、なおさら実感が薄くなる。

しかし、そうした問題も、そもそもは人間が引き起こした現実であって、原因も、またその結果も、私たちと無関係というわけにはいかない。“地球規模の問題”も、すべては空きビンの一つ放り投げるような、人間の無責任と傲慢さが生み出したのではないだろうか？ 投げ入れられた人間の無責任と傲慢さが、自然によって寄せ集められ、今、私たちの立つ岸边に戻ってきた…そんな錯覚を感じる。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata



PHOTO TECHNICAL DIGITAL 2008 DEC.